

# 「ワイヤレスブロードバンド実現のための周波数検討ワーキンググループ」検討状況

## 1 これまでの開催状況

### ○第1回(5月14日)

事務局から電波利用の現状と動向について聴取後、フリーディスカッション。意見募集実施決定。

### ○第2回～4回(6月8日、22日、28日)

ヒアリング実施(計28者)。※ヒアリング後も構成員から適宜追加質問を実施。

### ○第5回(7月13日)

意見・再意見募集の結果及びヒアリング内容をもとに論点整理のためのフリーディスカッション。

## 2 意見・再意見募集の実施

① 意見募集 : 5月15日～6月14日 提出件数 64件

② 再意見募集: 6月18日～7月 2日 提出件数 68件

## 3 寄せられた意見の概要

○携帯電話、BWA等移動通信システムを始め、交通機関内のワイヤレスブロードバンド環境整備、情報家電のワイヤレス化、スマートメータの導入、スーパーハイビジョンの開発など様々な分野から、周波数割当の拡大の要望が多数寄せられた。

○このうち、携帯電話システムに関しては、特に700/900MHz帯について、

①早期の導入を図るため現行の割当とすべき、②周波数再編を行って新たな割当とすべきとの意見が提示された。

○②の意見は、他のシステム(FPU、MCA、RFID(電子タグ)等)の周波数移行を伴うものであったため、この意見に対して、サービス開始の遅延、移行先となりえる周波数の確保、移行に要する費用及び期間などについて懸念を示す意見等が多数寄せられた。

※FPU:報道、スポーツ中継など放送事業で使用される可搬型の無線システム

※MCA:同報(一斉指令)機能やグループ通信機能等を有する自営系移動通信システム。陸上運輸、防災行政、タクシー等の分野で使用。

## 4 今後の予定

論点整理ののち、とりまとめを進める予定。